

# 公立八鹿病院誌投稿規定

1. 本誌は、公立八鹿病院の職員および関係者の研究業績等を掲載するものであり、論文等を受付次第本院HP内にて公開する。
2. 投稿者（著者・共著者）は、論文執筆時点または、それに関する研究時点で、公立八鹿病院組合職員であることを原則とする。
3. 著者全員が、論文の内容及び投稿することに関して同意していることを論文の連絡先となっている著者（corresponding author）が確認したのち投稿すること。
4. 投稿論文の作成においては、ヘルシンキ宣言（世界医師会）の科学的小説および倫理的規範および、「臨床研究に関する倫理指針」を遵守する。
  - 1) 人および動物が対象である研究は、対象者への協力および撤回について自由意思に基づくものであることを説明し、文書による同意を得ていること。
  - 2) 投稿する者は、実施前に施設の倫理委員会の承認を得ていること。
  - 3) 尺度等および商標登録物の使用許諾は著者があらかじめ得ておく。図表等の転載は原則として認めない。また、薬品や検査器具等は一般名称を用い（ ）内に商品名と登録商標の場合は、右肩に®を記載する。
  - 4) 研究に関連する企業や営利を目的とした組織との利益相反（COI）を抄録原稿の倫理的配慮の内容に含めて記載する。
5. 論文の内容
  - 1) 原稿の種別として、原著、症例報告、実践報告、その他を募集する。
  - 2) 国内・外を問わず、他誌に掲載されていないもの、または掲載予定でないものに限る。ただし、抄録のみの掲載は該当しない。
6. 論文の作成要領
  - 1) 言語は、日本語を原則として、標準的なフォント（MS明朝）を用いたMS-Wordで作成する。
  - 2) 原稿は、八鹿病院誌テンプレートを用いて記載する。
  - 3) テンプレートを用いることが難しい場合はテンプレートの様式に準じて本文、表はMS-Wordで、図はPower pointで提出してもよい。
  - 4) 要旨は和文で400字以内にまとめ、英文抄録は希望があれば文献の後に400words以内とする。キーワードは5個以内（英語、日本語ともに可）とする。
  - 5) 論文の長さは、原著は本文、図表を含めて10,000字以内。症例・実践報告・その他は5,000字以内とする。図表はそれぞれ400字に相当する。所定字数を超過した論文は原則として受け付けない。
  - 6) 書体と用語は、口語体、当用漢字、現代仮名遣い、ひらがな文横書きとする。
  - 7) 句読点はそれぞれ、カンマ「,」とピリオド「.」とし、カンマ・ピリオド・括弧はすべて全角、数字および欧文文字は半角を使用する。
  - 8) 外国語の固有名詞（人名、商品名等）は言語のままアルファベットで表記し、頭文字は大文字にする。ただし、日本語化しているものはカタカナとする。また、文中の外国語単語（病名、一般薬名等）の頭文字は、固有名詞、独語名詞、および文頭の場合を除き小文字にする。
  - 9) 年号は西暦で統一する。数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位を使用する。
  - 10) 略号は文中で頻回に用いられる術語で、習慣的に略語として用いられるもののみとし、要旨、本文それぞれの初出の箇所でその内容を明記する。
  - 11) 図の下中央には表題とその説明文を、表の左上に表題をそれぞれ番号順につける。図表の挿入箇所は、本文の該当箇所に明示する。
7. 論文の提出については医局秘書までメールに添付して提出する（tosyo@hosp.yoka.hyogo.jp）。
8. 文献の記載
  - 1) 文献については、本文中にあげたもののみとし、本文には引用箇所の文末に肩付きで通し番号をつける。
  - 2) 文献の記載は、引用順に一括し、下記形式に従う。
    - 〔雑誌掲載論文〕
      - ・引用番号) 著者名：論文の表題、掲載雑誌名、号もしくは巻（号）：最初のページ数－最後のページ数、発行年。
    - 〔単行本〕
      - ・引用番号) 著者名：書名（版数）、出版社名、発行地、発行年。
    - ・引用番号) 著者名：論文の表題、編者名、書名（版数）、ページ数、出版社名、発行地、発行年。
    - 〔翻訳書〕
      - ・引用番号) 原著者名/訳者名：翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地、発行年。
    - 〔オンライン資料〕
      - ・引用番号) 著者名：題名、サイト名（URL）、最終アクセス日。
9. 著作権  
掲載論文の著作権は、公立八鹿病院誌に帰属し、八鹿病院誌編集委員会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。
10. 編集  
編集は、公立八鹿病院誌編集委員会で行う。